

KURE KOSEN

 National Institute of Technology, Kure College

呉高専だより



写真・美術・建築デザイン部学生作品「金色の午後」

中国地区高専文化連盟写真部 品評会 優秀作品

※関連記事 18頁

呉高専と保護者をつなぐ情報誌



● 呉高専日誌

教育・研究

- 4月.....1
- ・オーストラリアの生徒たちがレーザー加工機体験
 - ・専攻科 プロジェクトデザイン工学専攻 入試説明会
 - ・プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠ 高齢期疑似体験
 - ・ヘアーしれんがどおりでプログラム教室を行いました
 - ・環境都市工学科3年 水環境工学でアクティブラーニング試行中
- 5月.....2
- ・ゴールデンウィーク返上でIEEEレーダ国際会議に参加
 - ・プロに学ぶ古民家再生 一有志の学生で建物見学をしてきました
 - ・3年生合同LHR（ステップキャンパスについて）
 - ・トーストマスターズの例会に参加しました
 - ・「企業経営や起業家を目指す技術者の育成」フィールドワーク
- 6月.....3
- ・第2回（平成28年度 第1回）学校を良くする懇談会
 - ・インキュベーションワーク 原小学校の4年生と防災マップを作る
 - ・電気情報工学科1年生 技術者入門にてロボットボウリング大会を開催しました！
 - ・インキュベーションワーク「九九連環」No.33攻略+番外編
 - ・呉高専生がアリゾナからの高校生と交流
- 7月.....4
- ・第6回スカイブ交流授業
 - ・「先端工学（修養）特講Ⅱ（出前授業 4/4）」を開講しました
 - ・【SAPARプログラム】「就職準備セミナーⅠ」と「SPI模擬試験」を実施
 - ・インキュベーション「ペーパーブリッジ、エッグドロップコンテスト」の実施
 - ・テレビ番組に出演し「この世界の片隅に」展を紹介
 - ・学校見学会で素数ホットケーキ、Animal mirrorを展示しました
- 8月.....6
- ・呉周辺の魅力の発信～サイクリングを通して島々の魅力の再発見～
 - ・WET 2016にて国際学会発表
 - ・UHMC姉妹校交流研修 1日目

クラブ活動

- 4月.....7
- ・呉地区総合体育大会（柔道の部）善戦の結果
 - ・硬式野球部高野連予チーム 県大会で1回戦突破！
 - ・ソフトボール部 呉地区総体の結果報告
 - ・ソフトテニス部 呉地区高校総合体育大会団体戦にて男女ともに3位入賞！
- 5月.....8
- ・陸上競技部卒業生記録会を開催しました
 - ・みなと祭・フラワーフェスティバルに出演
- 6月.....8
- ・インターアクトクラブ車いす清掃活動
 - ・高校総体ラグビーに合同チームで出場、尾道Bチームに善戦
 - ・広島県学生サッカーリーグ初戦勝利
- 7月.....9
- ・バスケットボール部（男子）高専大会結果
 - ・二河球場でアナウンス
 - ・高専大会バドミントン部の報告
 - ・第52回中国地区高等専門学校体育大会～テニス競技報告～
 - ・バスケットボール部（女子）あと一歩及ばず...
 - ・硬式野球部（高野連予チーム）第98回全国高等学校野球選手権広島県大会初戦突破！
 - ・卓球部全日本卓球選手権大会ジュニアの部呉地区予選 結果
 - ・自動車部 1/24スケール車プラモコンペ 2位
 - ・ワンダーフォーゲル部 クライミングコンペに初出場！
- 8月.....11
- ・演劇部合同合宿に参加しました
 - ・ソフトテニス女子全国大会金・銅メダル獲得で呉市長を表敬訪問

イベント等

- 4月.....12
- ・平成28年度入学式
 - ・寮生活スタート（入寮式から新入寮生歓迎夕食会まで）
 - ・1年生の遠足
 - ・一年生交流イベント【呉高専大解剖】
 - ・呉みなと祭に盛りだくさんの企画を出演しました
- 5月.....13
- ・学生会で合宿研修所の新しい看板を作りました
 - ・学生寮映画祭 開催
- 6月.....13
- ・第12回呉高専文化行事 開催
 - ・国際交流パーティー
 - ・体育祭
 - ・学生主催企画「Melloco/林檎子 似顔絵講座・画展」を開催しました！
 - ・平成28年度ブックハンティング
 - ・2年学科交流企画
- 7月.....15
- ・阿賀小学校3年生が校外学習で見学に来られました
 - ・呉東ロータリークラブへの感謝状贈呈
 - ・環境都市工学科 学校見学会の様子
- 8月.....16
- ・英語統一試験成績優秀者の表彰式
 - ・第1回呉高専ミニロボコン開催
 - ・実習工場技能講習会（その1）
 - ・実習工場技能講習会（その2）

● クラブ活動・各種大会報告

- クラブ活動・各種大会報告.....17
- ・第22回西日本地区高等専門学校空手道大会
 - ・ソフトテニス部 全国高専体育大会にて女子が金・銅メダル獲得！
 - ・第25回西日本地区高等専門学校アーチエリー競技会の報告
 - ・平成28年度中国地区高専文化連盟写真部合同合宿の報告

平成28年4月13日呉高専日誌より

オーストラリアの生徒たちがレーザー加工機体験

建築学分野 間瀬 実郎

本日、建築学科ではオーストラリア（ラドフォード高校）の生徒さんたちを招いて工作体験をしてもらいました。

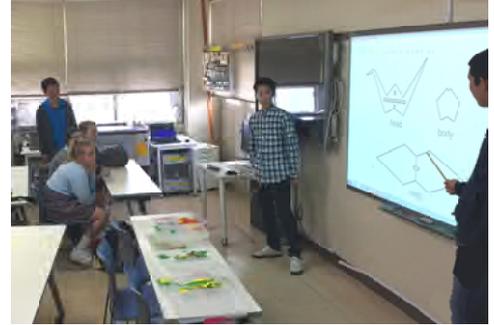
レーザー加工機でカットしたパーツを組み立てて折り鶴（レーザ鶴）と宮島の大鳥居を作りました。

工作の説明は本校学生が卒業研究の一環として担当しました。彼らはそれ

を真剣に聞き入っていました。

パーツを確認し、本校学生が作り方を個別にしているうちに生徒同士の交流も生まれました。

レーザ加工機とそれを制御するソフトにも興味を持つ生徒さんもいて、楽しい工作体験となりました。



平成28年4月13日呉高専日誌より

専攻科 プロジェクトデザイン工学専攻 入試説明会

専攻科長補 河村 進一



専攻科プロジェクトデザイン工学専攻の入試説明会を学生・教職員対象に行いました。「専攻科はものづくりの超エリートコース」という題目で約1時間にわたって、森野校長が新しい専攻科の魅力、専攻科進学を勧める理由、養成しようとする技術者像、プロジェクトデザイン工学専攻のカリキュラムの特長などについて説明しました。その後、主に今年専攻科を受験する予定の5年生を対象に自由に質問できる時間を設け、特別研究や長期インターンシップなど専攻科での授業内容に関する疑問に森野校長と岩本専攻科長が丁寧に対応しました。最後に募集要項を見ながら、試験や出願

日程に関する注意事項を、それから学力試験を面接だけにしてしまう裏ワザまで、専攻科長が詳しく説明しました。約1時間半にわたって入試説明会で説明させていただきましたが、わからないことや専攻科に関する質問がありましたら、専攻科長または各分野の専攻科長補に相談してください。

今年の専攻科入試は5月13日(金)に推薦、6月11日(土)に学力を行います。旧専攻で16人だった定員を新専攻では2.5倍の40人に大幅に増員しました。多くの学生に専攻科進学を視野に入れて勉強してほしいと思っています。

平成28年4月15日呉高専日誌より

プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠ 高齢期疑似体験

専攻科長 岩本 英久



専攻科1年生のプロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠで「高齢期疑似体験」を行いました。日常生活の不自由さを体験できるセットを用いて、校内の施設を検証してみました。この取り組みは、不便な環境を見つけ出すことが目的ではなく、高齢社会が求める“やさしさ”をもって、高齢者に寄り添うことができる技術者になってもらうために実施しました。4~5人のグループで、全員が体験し、全員が介助者となって、それぞれが気づいたことについて話し合います。

「高齢者の視線は下方方向であること」や「階段の上り下りが大変であること」など、あたりまえのことから、「手すりの位置が現状では高いこと」など改善すべきことも列挙しました。各個人の気づきと改善はグループ討議で共有化してまとめます。来週の19日(火)1限8時50分から発表会です。楽しみです。



平成28年4月17日呉高専日誌より

ペアーれんがどおりでプログラム教室を行いました

電気情報工学分野 外谷 昭洋

子供たちに理科やものづくりの楽しさを伝えるために活動している“サイエンスサポートプロジェクト”の有志学生と一緒に、呉市内にある“ペアーれんがどおり”でプログラム教室を行いました。

今回は、小学生でも手軽に使える“スクラッチ”と呼ばれるプログラム言語を使って、画面の中のネコのマスコットを動かしたり、鳴かせたりするプログラムを作りました。説明が多めの講座ですので、はじめは会場で疑問符が漂う感

じでしたが、思い通りにプログラムを動かせるようになると歓声上がり、最後には参加した子供たちがオリジナルのプログラムを次々と楽しく作っていました。

今回の教室を開催するにあたり、ご協力いただきましたペアーれんがどおりの小松様、菊間様をはじめ、関係いただきました皆様に深く感謝いたします。サイエンスサポートプロジェクトの2016年度の活動がスタートしました。今年度も様々なところでイベントを行っていきたく思っておりますので、よろしくお願いたします。



平成28年4月22日呉高専日誌より

環境都市工学科3年 水環境工学でアクティブラーニング試行中

環境都市工学分野 谷川 大輔

環境都市工学科の3年生では、水環境問題や上下水道について学ぶ「水環境工学」という科目があります。昨年度までは、パワーポイントによる講義を実施した後にプリント課題を行うという形式で講義を進めていきましたが、今年度からアクティブラーニングを導入しました。

今日の講義内容は、閉鎖性水域で発生する水環境問題である「富栄養化」について。瀬戸内海に接する呉にとっても身近な環境問題です。テーマは、「富栄養化した水域をどうすれば改善できるか?」。各自で案を考え、グループに分かれてディスカッションを行います。ディスカッションでは、自分の案をグループ内で説明し、

フィードバックを受けます。その後、グループとしての案を決定し、代表者が発表します。

各グループからは、富栄養化によって大量発生したプランクトンを船や機械を利用して物理的に取り除く案、表層と低層を強制的に攪拌し富栄養化の発生を防止する案から、大量発生したプランクトンに油をかけて燃やす、回遊魚の特性を利用して水域を攪拌するなどユニークな案も出てきました。発表ごとに質疑の時間を取り、全発表終了後、私の方で講評を行いました。どの案も、問題の本質をつかんでおり、その発想力に驚きました。今後皆さんの柔軟な発想力に期待しています。



平成28年5月6日呉高専日誌より

ゴールデンウィーク返上でIEEEレーダ国際会議に参加

先端電磁波システム研究室



5月2~6日を会期とし、アメリカペンシルバニア州フィラデルフィアで開催された米国電子電気工学会(IEEE)レーダ国際会議に参加してきました。

5月1日深夜に羽田国際空港を出発、ロサンゼルスを経由し、翌5月2日早朝にニューアーク国際空港(ニューヨーク)に到着。そこからアムトラック(全米旅客鉄道)に乗り継ぎ、フィラデルフィアには現地時間で午前10時に到着。すぐに国際会議会場に直行し、まずは二つの会議に出席しました。

昨年度のインキュベーション授業の中から生まれた二つのレーダ方式(土砂災害予知レーダ、インフラ倒壊防止レーダ)に関して、参加した各国の研究者に対して、多角的な観点から外部評価

として意見を求め、その方向性の妥当性と修正点などを確認することが出来ました。

また他国の報告の中からもヒントを得、今後研究室に取り入れるべき新たな内容も明確化でき、今年のゴールデンウィークも休むことが出来ませんでした。収穫の多い国際会議参加になりました。

なお残念ながら本会議は機密性が高いため、会議の様子を写真で紹介することが出来ません。その代わりに、滞在ホテルから会議会場への道筋にあるアメリカ独立記念館を紹介し、写真の角度が悪いので記念館の半分が樹木で隠れています。1776年に当時イギリスの植民地であったアメリカが、この地で独立宣言をした、由緒ある場所で、ユネスコの世界遺産にも指定されているようです。

平成28年5月8日呉高専日誌より

プロに学ぶ古民家再生—有志の学生で建物見学をしてきました—

建築学分野 光井 周平

5月8日(日)、JR海田市駅から歩いて15分ほどの場所にある古民家を見学に行きました。今回は1年生から専攻科生まで13名の学生が参加しました。

今回訪れた古民家は母屋が約150年、離れが約90年前に建てられた建物で、門や土蔵もある立派なお宅でした。最近リフォームや耐震補強のために工事が行われた建物で、耐震改修とリフォームの設計をされた建築士の吉野康夫さんに案内をしていただきました。

なるべく現状の雰囲気を変えてほしくないとの所有者の方のご希望を踏まえて、床下や屋根裏の見えないところを補強したり、

木を格子に組んで耐震性を持たせた壁にしたりと様々な工夫がされています。格子壁は細かい部分は現場で調整した大工さんの力作です。

木造住宅の耐震性についてや古民家の構造的特徴など、設計された方に解説をしていただきながら図面片手に実際の建物を見学できたのは学生にとって大変よい勉強になったと思います。

1年生のみなさんは主に後期から勉強する内容でしたので、よい予習になったのではないのでしょうか。

約2時間に渡って丁寧にご説明くださった吉野さん、ありがとうございました!



平成28年5月11日呉高専日誌より

3年生合同LHR (ステップキャンパスについて)

学生主事補 黒川 岳司



10月13日・14日に実施される3年生のステップキャンパスに関する合同LHRが5月11日(水)に視聴覚教室にて行われました。

ステップキャンパスは、5年間の高専生活の中間点である第3学年で、これまでの学生生活を振り返り、後半の高専生活を有意義におくる契機となることを目的とし、学生主体で実施する呉高専の伝統行事です。

学生が主体ということで、各クラスから3~4名選出してもらったクラス代表で、事前に今年はどういう方向性で、どのような企画を行うかなどについてミーティングを行っていました。そこで、今回の合同LHRでは、ステップキャンパスの目的・目標や概要を説明した後、ステップキャンパ

スの学年代表・副代表となった環境都市工学科3年小村創史君、建築学科3年榎崎一輝君に、今年はどういう企画を行う予定なのか、事前ミーティングで話し合った内容を発表してもらいました。

今年の企画は、恒例の「料理」、みんなが熱くなり仲良くなれる「競技(的なもの)」、ちょっとキツイけど達成感がある「登山遠足」の3つが中心です。前期中間試験明けから、各企画の担当学生を中心に、企画の詳細を練っていきます。ぜひ3年生みんなの知恵を出し合って、有意義で楽しいステップキャンパスを作り上げていきましょう!

平成28年5月15日呉高専日誌より

トーストマスターズの例会に参加しました
インキュベーションワーク英語スピーチ・プレゼン指導

人文社会系分野 上杉 裕子



5月15日(日)、インキュベーションワーク、英語スピーチ・プレゼン指導を選択している電気情報工学科2年坂本雅弥君と中林龍君が、呉トーストマスターズの例会に参加してきました。
トーストマスターズというのは、「会合で乾杯の音頭を取る人」という意味で、パブリック・スピーチ、即興スピーチやアクティブ・リスニングの訓練により、人前で効果的に話す技術とコミュニケーション能力を磨く、スピーチクラブです。
今回は、本ワーク初の「外へ飛び出す企画」として、スピーチ・プレゼンについてのヒント、そして知的刺激を得るためにこの例会に参加してきました。例会にはい

ろいな職業、幅広い年齢層のメンバーが集まり、活動は全て英語で行なわれました。
まずウォームアップスピーチに続いて、3名のメンバーによるスピーチが披露され、あらかじめ任命されていた評価メンバーにより、文法、「ア～」の数、発音の観点から評価が行われました。テーブルトピックスピーチでは、「ドラえものいるいるアイテムの中で、好きなもの一つを選び、選んだ理由とそれがあれば何が出来るか」というお題で、坂本君と中林君が、初めての参加とは思えない程、積極的で、物怖じせず、堂々とスピーチをしました。二人とも通常のワークとは異なる環境で、大きな刺激を受けることができたようです。

平成28年5月19日呉高専日誌より

「企業経営や起業家を目指す技術者の育成」フィールドワーク

機械工学分野 岩本 英久

今日のインキュベーション「企業経営や起業家を目指す技術者の育成」では、呉市内の100円ショップでフィールドワークです。
100円ショップの店舗とその本社には今回の視察について許可をいただいています。この場を借りて、ご協力いただいた100円ショップの皆様にご挨拶申し上げます。他のお客さんに迷惑をかけるまいと、静かに視察します。
さて、今日の課題の一つは「100円ショップにはたくさん商品があるけれど、ここに存在しない100円程度の商品

はないだろうか?」です。この課題は「無いものを見つける」ということですが、店内を散策しては時間の浪費で終わります。なので、事前に「これはかからないか!」という商品を探さず、想定した店舗内で探索するのです。この「うわ〜、あったわ〜」と気づく恐怖は必ずあります。

自ら課題を見出す訓練は始まったばかりです。頑張れ! 起業家の卵たち!



平成28年6月13日呉高専日誌より

第2回(平成28年度 第1回)学校を良くする懇談会

学生主事補 黒川 岳司



6月13日の放課後に学生会執行部を中心とする学生の代表17名と森野校長ら学校幹部9名とで今年度1回目の「学校を良くする懇談会」が開かれました。
この「学校を良くする懇談会」は、学生にとって呉高専がさらに学びやすく楽しい学校へと発展するように、学生からの率直な意見・要望を校長ら学校幹部の方々に伝え、その内容について意見交換するというもので、昨年12月の開催に続き今回で2回目です。
学生会では年度初めから何回か代議員会を開いて、学生から意見・要望を募り、この懇談会に提出する要望書としてまとめました。今回は、教務、学生生活、学生寮、学校設備などに関して合計34項目となりましたが、それぞれの意

見・要望に対し、学校幹部の方々に一つひとつ丁寧に回答頂きました。
前回の要望に対しては、たくさん関係者のご尽力で多くの要求が叶っています。今回の懇談会では、森野校長から学生会に対する要望も出されました。この「学校を良くする懇談会」をきっかけに、学生自らの手で心地の良い学校に進化させる行動につながれば幸いです。

なお、次回は12月に開催予定です。学生のみならず、意見があれば、代議員を通じて、または直接学生会に伝えて、学生みんなでより良い学校にしていきたいと思います。

平成28年6月15日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 原小学校の4年生と防災マップを作る

環境都市工学分野 森脇 武夫

平成28年6月9日と15日に「防災グッズの開発と製作」グループは、加納先生も同行していただき呉市立原小学校の4年生と一緒に防災マップ作りを行いました。
まず、教室で防災マップの作り方の打合せを行った後、4つの班に分かれて通学路を歩き、がけ崩れが起りそうなところ、ふたのない溝、ガードレールのない歩道などの危険なところや公園や頑丈な建物などの安全なところを探して地図に記入するとともに、デジカメで写真を撮りました。
インキュベーションワークの学生は各班に2名ずつ付き、地図の見方や危険な箇所を児童に教えるなど積極的にアドバイスをっていました。

街歩きから帰った後は、教室で大きな地図にがけ崩れで危険な箇所は赤色で、川や溝などの水に関する危険な場所は青色で、安全な施設は緑色で記入するなどの作業を行いました。地図にどのように表示したら分かり易いか、どの写真を張り付けたら良いかを子供たちと一緒に考えました。
出来上がった防災マップの発表会が6月27日に行われました。授業の関係で本校の学生は参加できませんでしたが、子供たちは大変わかりやすく立派に発表していました。6月23日には実際に避難勧告も出て、災害や避難が身近なことだと実感し、理解が深まっているようでした。
呉高専としては、今後も連携して地域の防災に貢献して行きたいと思っています。



平成28年6月16日呉高専日誌より

電気情報工学科1年生 技術者入門にてロボットボウリング大会を開催しました！

電気情報工学分野 井上 浩孝

6月16日(木)、電気情報工学科棟1階の情報処理演習室にて、1年生を対象に、インキュベーションワーク「技術者入門」の時間にロボットボウリング大会を開催しました。

この大会は、まずコースを1周した後、3メートル先にある5本のピンを制限時間の1分30秒以内に何本倒すことができるかを2回実施し、得点の高い方を勝ちとする対戦方式の41名参加のトーナメントです。

学生たちは、技術者入門の時間を利用して、4回にわたりロボットの製作を行いました。中には、ロボット製作クラブ、ICT科学部の学生を中心に20名近くの学生が、

中間試験が終わってから連日放課後下校期限の19時まで残ってロボット製作に励みました。さらに、大会当日は朝6時から始業前まで会場を解放しましたが、最終調整をしながら自主的に早朝に来る学生も10数名いました。

大会結果は次のようになりました。

- 優勝：若本 翔 君
- 2位：梶 凌太 君
- 3位：西林 寛大 君
- 3位：若本 孝太 君

準々決勝以降は、どのロボットも正確にピンを倒し、白熱した好ゲームの連続で、あっという間に時は過ぎ、自主的に実況や解説をしてくれる学生もあり、大変盛り上がりました。



平成28年6月23日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「九九連環」No.33攻略+番外編

インキュベーションワーク「九九連環」チーム



中国の古典知恵の輪「九九連環(きゅうきゅうれんかん)」の54種の全攻略を目標に、学生12名とインキュベーションワークを取り組んでいます。

平成28年度に入り、攻略できた珍種が増えてきましたので、その一つを解説します。手持ちの資料では九九連環シリーズのNo.33と分類されている種です。基本の5連環を上段に、下段に3連環を配置した姿が特徴です。最初に5連環と3連環を個別に考えるか、交互に並行して考えるかという選択を迫られます。また、途中に大きな仕掛けが待ち受けています。その奇抜さのためか、解法手順としては総計27手と、他の種に比べると非常に少ない手数という

のも特徴です。ともあれ、「九九連環」の珍種No.33、皆で検証作業を終え、攻略認定としました。さて番外編として、星形の知恵の輪を紹介しします。

環境都市工学科5年の宰君が製作し攻略してくれました。九連環の基本手順に慣れると逆に難しくなり、九連環系の対局に位置する知恵の輪であると考察してくれました。



平成28年6月28日呉高専日誌より

呉高専生がアリゾナからの高校生と交流

人文社会系分野 上杉 裕子

6月20日(月)~27日(月)、アリゾナの高校生14名、先生1名が来校され、学生宅にホームステイしたり、授業と一緒に受けるなどの交流をしました。国際交流ボランティアやホスト学生カバディ(世話学生)となり、パデイのいるクラスに留学生が配属されました。

20日(月)到着後、校長室へ表敬訪問。

21日(火)宮島への遠足が大雨のためにキャンセルとなり、それぞれホストファミリーと過ごしました。

22日(水)建築学科棟でレーザーカッター加工機を見学。その後授業を受け、2年学科交流企画に参加。

23日(木)午前、大雨のため休校。午後、インキュベーションワークやイングリッシュラウンジに参加。

24日(金)遠足を振替え、午前中、平和公園、平和資料館を訪問。午後また休校となり、遠足を中断。企画していたフェアウェルパーティも残念ながら中止となりましたが、GoHaで楽しいランチタイムを過ごしました。週末は、ホストファミリーと楽しく過ごしたようです。27日(月)午前中、専攻科2年の「上級工業技術英語」、4年選択「英語」の授業で、ミニスピーチ大会、ゲーム、文化紹介などで交流を楽しみました。昼食後、いよいよ別れの時が近づき、学生たちは抱き合ったり涙をこぼす場面も。パデイ学生9名とホストファミリーが留学生らを見送りに阿賀駅へ行き、別れの時を惜しんでいました。大雨で予定変更の多い、短い期間でしたが、お互いにかげがえのない思い出を作ることができたようです。



平成28年7月4日呉高専日誌より

第6回スカイプ交流授業

人文社会系分野 上杉 裕子



7月4日(月)、4年外国語選択英語の授業において、長岡技術科学大学で学ぶ留学生と、前期最後となる第6回スカイプ交流授業を行いました。タイトルはCommunication Style(コミュニケーションのスタイル)でした。

環境都市工学科 片岡大樹

今回はどのようにコミュニケーションをとるかについて話しました。LINEやTwitterなどの良い点や良くない点などをお互いの意見を交えて伝えられて良かったです。スカイプの機会を増やして、実際の英語に触れる時間を多くしたい。

環境都市工学科 大目雅公

明るい人だったので非常に話しやすく、向こうのこともたくさん知ることができたと思うし、質問も通じたので良かった。コンピュータの整備と英熟語のサポートが欲しいです。

電気情報工学科 河野直輝

正直、簡単なトピックでないと話をするのが難しい。話が脱線してしまっただが、楽しめた。

電気情報工学科 佐々木菜緒

1カ月間インターンに行くという、自分も頑張ろうと思った。

平成28年7月7日呉高専日誌より

「先端工学（修養）特講Ⅱ（出前授業 4/4）」を開講しました

機械工学分野 山田 宏



（大共）高エネ研（KEK）教職員による出前授業「先端工学（修養）特講Ⅱ：ESD（持続発展教育）を見据えた先端工学」の1、2、3回目を引き続き、最終となる4回目を実施しました。講師は、宮原正信先生で、特講テーマは、「宇宙の謎に挑む先端加速器計画 ILC」と題して、物質、宇宙の成り立ちを解明する国際リニアコライダー（ILC）計画の、正に極微の世界から宇宙までと言う、スケール範囲の極めて広いお話でした。
km単位の大きな研究装置（施設）内で、μm単位の精度が求められると言う、技術者冥利？に尽きる難題を解決し、改善を重ねる経緯を、つくばの大規模加速器

SuperKEKBやILCの構築を例に、解説して下さいました。
受講生は、ILCの重要性は元より、建設工学的「精度」に対する理解も深まったことと思います。
ニュートリノや最近話題のヒッグス粒子等の概要を、他のKEK教職員も交えて、解り易い資料にまとめて下さったそうで、改めて、お礼を申し上げる次第です。
一連の出前授業は、今次を以て終え、いよいよ9月には、将来、研究・開発職を目指す、選抜された受講生がKEKを訪問し、「集中講義（参考日誌：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩）」に臨む、本特講の佳境に入る予定です。

平成28年7月14日呉高専日誌より

「SAPARプログラム」 「就職準備セミナーⅠ」と「SPI模擬試験」を実施しました

キャリア教育推進室 山岡 俊一

呉高専には、学生が希望どおりの就職先や進学先に進めるように、「どのような進路があるのかを知る」→「自身の適性を確認」→「希望の進路を定め、すべきことを計画する」→「希望の進路に向けて努力する」→「具体的な進路の準備をする」というような「呉高専キャリア教育プラン（SAPAR）」があります。
このSAPARプログラムのうち、6月8日（水）の放課後に「就職準備セミナーⅠ」、7月6日（水）の放課後に「SPI模擬試験」を実施しました。

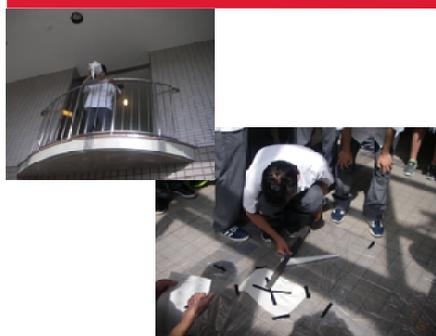
「就職準備セミナーⅠ」には40名の4年生が参加し、来年度の就職活動に向けて必要な情報収集の方法や準備すべきことなどを講義しました。
「SPI模擬試験」には127名が参加しました。日本で最も使われている採用試験ですので、学生たちは一生懸命取り組んでいました。
全学生が希望する進路に進めるように、キャリア教育推進室や担任の先生はもちろん、全教職員がしっかりサポートします。学生の皆さんも日々の努力を怠らないようにしてください。



平成28年7月19日呉高専日誌より

1年生インキュベーションワーク 「ペーパーブリッジ、エッグドロップコンテスト」の実施

機械工学科5年 山岡 隆矢、山本 貴大



6月に実施した1年生技術者入門教育の一環として、機械工学科1年生によるペーパーブリッジコンテストを6月1日に行いました。
ペーパーブリッジコンテストとは、紙で作った梁を30cmの間隔で置かれた机の上に置き、その梁の中央に集中加重をかけ、その重さを競うものです。
ネットでの情報や先生からいただいたヒントを元に、限られた少ない材料でたくさんのユニークな形の梁を作っていました。中には用意した重りをすべて使う梁もありました。しかし、高専に入って初めてのものづくりに苦戦し自分のイメージと違う壊れ方をした悔しい思いをした学生もいたようです。その中で「なぜそこから壊れたのか」、「ここが壊れないためにはどうすればよい

のか」と考察する姿もみられ、未来のエンジニアとしての第一歩を確実に踏み出していると感じました。
また、6月23日にはエッグドロップコンテストを行いました。
エッグドロップコンテストとは、卵を高いところから落としても割れないように工夫したものに載せて落とし、その工夫を競う競技です。
二回目のコンテストということで前回の反省を生かしてどのように工夫すればよいか試行錯誤して作る姿が見られました。見事、卵を割らずに落とすことができたグループもいて、これから習っていく専門科目で「あの時こうだったのか」と思う姿を描くと未来のエンジニアとしての第一歩を確実に踏み出していると感じました。

平成28年7月25日呉高専日誌より

テレビ番組に出演し「この世界の片隅に」展を紹介

環境都市工学科4年 赤木大介、片岡大樹、建築学科2年 永井美穂、環境都市工学科2年 杉原綾乃

私たちの魅力再発見！「この世界の片隅に」展を紹介！
「この世界の片隅に」展は、7月19日（金）18時から21時30分まで、呉市美術館で開催されています。この展覧会は、NHKのテレビ番組「この世界の片隅に」の制作陣が、この展覧会を通じて、この世界の片隅に、

ん団と呉のお話という番組に出演して、話をしてきました。番組の台本（！）を渡されたときには、驚きながらもアドリブで交えて、撮影を無事終えることができました。放送を最終楽しみに、呉市美術館では、「若者の呉いむく」として、この展覧会を通じて、この世界の片隅に、



平成28年7月31日呉高専日誌より

学校見学会で素数ホッケー、Animal mirrorを展示しました

電気情報工学科5年 新谷 哲平、電気情報工学科4年 目崎 照幸

面白いアプリケーションをプログラムで作って、たくさんの人にその開発に興味をもってもらうために活動している「デザイン×エンジニアリングプロジェクト」は、7月31日に開催された学校見学会で、自分たちでプログラムを作成した「素数ホッケー」と「Animal mirror」を展示しました。

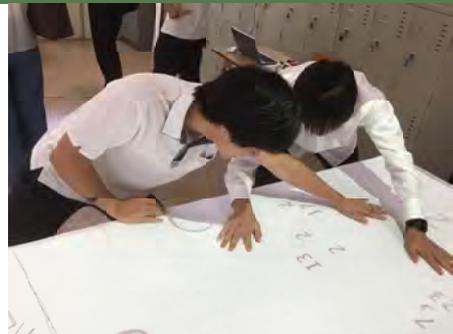
「素数ホッケー」は、エアホッケーのバックを数字に置き換えたもので、次から次へと現れる数字のうち、素数(※)以外の数字を判断して打ち返し、素数のみを自分のゴールに入れるアプリケーションで、「Animal mirror」は、カメラで人間の顔を認識して、その認識した顔に動物の顔を合成して表示するアプリケーションになっています。

展示では、来てくれた中学生が「素数ホッケー」を何度もプレイしてくれたり、「Animal mirror」に夢中になってくれたりして、大変嬉しく思いました。

今回の展示を通して、アプリケーションを作ることに興味を持つ中学生が増えてくれたらいいなと思っています

私たちはこれからも、楽しくなるようなアプリケーションを作っていきたいと思っていますので、今後の活動にご期待ください。

※素数…その数と1以外で割り切れない数。



平成28年8月9日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「呉周辺の魅力の発信～サイクリングを通して島々の魅力の再発見～」

環境都市工学科5年 濱本 魁人



私たちのインキュベーションワーク「呉周辺の魅力の発信～サイクリングを通して島々の魅力の再発見～」で、8月8、9日の2日間で、しまなみ海道サイクリングロードを自転車で行ってきました。

8月8日の早朝に尾道を出発し、今治まで走りました。人それぞれ体力の差がありましたが、学科学年問わず全員で助け合い目的地にたどり着くことが出来ました。

8月9日は今治から尾道までの走行で、8日で走ることに慣れたのか前日と比べてスムーズに走ることが出来ました。

この2日間で様々な島々の魅力に触れることが出来たと思います。

2日間で150kmという大変長い距離でしたが、みんなで協力しながら最後まで走りきることができました。少しではありますがありますが走る楽しさが分かったような気がします。今回のサイクリングでの経験を活かして島々の魅力の発信を行っていきたいです。

最後になりましたが、今回サポートしてくださった岡本さんと梅田さんにお礼を申し上げます。

平成28年8月28日呉高専日誌より

WET 2016にて国際学会発表

環境都市工学分野 谷川 大輔

8月27～28日に中央大学後楽園キャンパスで開催されたThe Water and Environment Technology Conference 2016 (WET2016)にて、本研究室の専攻科生 惣中くんと藤平くん、本科5年生の中村さんが研究発表を行いました。本国際学会は4分間の口頭発表と1時間のポスター発表によるハイブリッド形式となっており、各学生共に、ポスターを訪れた研究者の方々と活発なディスカッションをおこなっていました。

以下、3名のコメントです。

専攻科2年 惣中くんと

今回の学会発表では、自分が発表するだけでなく、専攻分野に近い研究者の発表を見学し、ディスカッションをすることで知見を深めることが出来ました。学会開催中に頂いたアドバイスや、収集した知見を参考として、自分の研究を進めていきたいと思っています。

専攻科1年 藤平くん

日本語では説明できても英語での説明は難しく、私が見てきたことをすべて伝えることはできませんでしたが、予想以上に私の研究に興味を示してもらい、思いのほか緊張することもなくディスカッションすることができました。

本科5年 中村さん

この度、私は学会に参加するのは初めてであり、国際学会で英語での発表ということであったため、とても緊張しました。

英語でのプレゼン発表やポスタービューイングについては不安もありましたが、参加者の方が発表内容に興味を持って熱心に聞いてくださったため、大きな失敗もなく無事に終えることができました。

この学会での経験は、今後の研究でも役に立つと思っています。



平成28年8月30日呉高専日誌より

ハワイ大学マウイ校 (UHMC) 姉妹校 交流研修 1日目

機械工学科4年 秦 直輝



8月29日～9月8日の11日間、UHMCで交流研修があります。初日は移動がメインでした。

関西空港からホノルル空港まで約9時間、ホノルル空港からカフルイ空港まで約1時間とフライトだけで約9時間も乗り継いでマウイ島に到着しました。

この日、特に驚いたことは、時差についてです。関西空港を8月29日、午後9時に出発したにも関わらずホノルル空港に8月29日午後1時に到着しました。まるで、タイムスリップしたような気持ちになりました。日本とマウイは約19時間の時差があり、今回のフライトは日付変更線を跨いだので特に時差ボケの影響を受けました。

到着次第、ホストファミリーと合流しました。到着して、持っていったお土産を渡しまし

た。事前に、友達から言われていたキットカット(宇治抹茶)とハイチュウは特に喜んで下さいました。

夕方は夕焼けを見に行きました。美しい山と海の広がる素晴らしい風景に差し込む夕日は今までで一番感動的でした。

まだ、初日ですが英語の世界に触れ少しでも多くの事を学んで帰りたいと思います。



平成28年4月17日 呉高専日誌より

呉地区総合体育大会（柔道の部）善戦の結果

柔道部顧問



4月17日（日）オークアリーナ武道場にて、呉地区総合体育大会（柔道の部）が開催されました。本校からは、電気情報工学科1年生の西林君と、同学科3年生の小池君が個人戦で出場しました。両名とも、それぞれ出場した-60kg級と-81kg級で第2位となり、6月に開催される高校総体県予選の出場権を獲得しました。おめでとうございます。

大変良い試合をしたと思います。また、

先輩の機械工学科4年生 大谷主将が応援と指導にいらした点も素晴らしかったと思います。6月の県予選、7月の高専大会に向けて、各々の課題を克服すべく皆でしっかりと練習していきましょう。



平成28年4月17日 呉高専日誌より

硬式野球部高野連チーム 県大会で1回戦突破！ 硬式野球部顧問（高野連チーム） 黒川 岳司

硬式野球部高野連チームが、昨年続いて春季広島県高校野球大会に出場しました。1回戦は4月16日（土）に尾道市のしまなみ球場にて因島高校との対戦となりました。試合は、エースの環境都市工学科3年渡邊芳樹君の立ち上がりをとらえられ1点を先制され、さらに2回にも3点を追加されて4点を追いかける苦しい展開となりました。しかし、それ以降は粘り強い投球とバットの堅実な守りで得点を許さず、一方、好調な打線は安打を重ね徐々に点差を詰めて5回に追いつき、8回に4番の建築学科3年中村君の適時3塁打でついに勝ち越し、5番の環境都市工学科3年の渡辺大和君の犠飛でもう1点追加し、最終的に6対4で勝利しました。

続く2回戦は、17日（日）に福山市民球場にて

崇徳高校との対戦となりました。この日も初回に1点を奪われる苦しい立ち上がりとなり、甲子園に何度も出場している強豪校に何とか食らいついていこうと奮闘するも、ヒットは出るものの得点が奪えず、反対に守備でエラーやミスが出てしまい、結局流れを掴めぬまま0対10の5回コールド負けとなってしまいました。

今回の県大会では、1回戦突破（県ベスト32）と、そつが無い試合運びをする強豪校相手の大敗から、自分たちを信じて最後まで諦めず自分たちの野球を全うすることがいかに大事かということを感じました。夏の大会まで3カ月を切りました。今回の経験を糧に夏に向けてチーム一丸となって頑張ります。



平成28年4月23日 呉高専日誌より

ソフトボール部 呉地区総体の結果報告

ソフトボール部顧問 山崎 勉



広島県高体連呉支部大会は、4月23日（土）呉市民広場で開催されました。

呉宮原高校、市立呉高校、呉高専の3校リーグ戦で実施され、宮原高校が優勝し、呉高専は3位でした。呉高専の試合は、宮原高校に16対0、市立呉に9対6の結果でした。

二週間前の春季選手権大会の反省から、この大会に向け部員それぞれに目標を立て努力をしてきました。その成果を感じるこ

とはできました。しかし対戦したチームのレベルは高く勝利を手にするには至りませんでした。

この大会で見えた進歩の兆しを膨らませ、御調球場で開催される県総体へ向けチーム一丸となって頑張ります。



平成28年4月24日 呉高専日誌より

ソフトテニス部 呉地区高校総合体育大会団体戦にて男女ともに3位入賞！

ソフトテニス部顧問 井上 浩孝

4月24日（日）、呉市総合スポーツセンターテニスコートにて開催されました呉地区高校総体ソフトテニス競技団体戦にて、本校ソフトテニス部が男子、女子ともに3位となり、6月11日（土）、12日（日）にびんご運動公園テニスコートにて開催されます、広島県高校総体への出場が決まりました！準々決勝にて、第3シードで出場した男子は広高校に対戦成績3対0で、第4シードで出場した女子は呉三津田高校に対戦成績2対1で勝ちました。準決勝にて、男子は第2シードの呉宮原高校に対戦成績1対2で、女子は第1シードの清水ヶ丘高校に対戦成績0対2で負けました。特に、男子は同じ番手同士が激突する白熱した好ゲームを1試合目は勝ち、2試合目、3試合目

を負け、惜しくも競り負けました。3位決定戦にて、男子は呉工業高校に対戦成績2対0で、女子は広高校に対戦成績2対1で勝ちました。結果は、次のようになりました。

男子	優勝 呉港	女子	優勝 清水ヶ丘
2位	呉宮原	2位	呉宮原
3位	呉高専	3位	呉高専
4位	呉工業	4位	広

校長先生をはじめ、多くの保護者のみなさま、OBの原田君、新迫君、上級生の部員たちが応援に駆けつけてくださいました。感謝いたします。

目標としていた優勝を逃して流した涙を忘れず、6月の広島県高校総体では上位入賞目指して頑張ります！



平成28年5月4日呉高専日誌より

陸上競技部卒業生記録会を開催しました

建築学分野 光井 周平（陸上競技部OB）

5月4日、前日までの雨も上がった快晴の下、呉高専陸上競技部の卒業生で毎年開催している記録会が行われました。近い世代の先輩方と始めてすでに10年以上が経ちます。現役世代と卒業生との交流の場になればと始めた記録会ですが、今年度は総勢50名が集まって盛大に開催できました。初代顧問の堀武夫先生、一昨年度に定年退職された谷岡憲三先生にもお越しいただきました。

卒業生での最年長は3期生の66歳。在校生で最年少は2年生の16歳ですので年の差は50年。呉高専の歴史を実感するとともに「高専時代に陸上競技を頑張った」という共通点でこれだけの方々が集まれるというのは改めてすごいことだなと感じました。

一昨年度に開催した創部50周年記念駅伝のことを思い出しつつ、これからも楽しく続けていきたいと思った1日でした。



平成28年5月9日呉高専日誌より

みなと祭・フラワーフェスティバルに出演

ダンス部 宮本 健太（電気情報工学科4年）



呉高専ダンス部は、4月29日のみなと祭、5月4日のフラワーフェスティバルに出演させていただきました。
朝早かったり、屋外ステージで暑かったりしたのですが、たくさんの方々が見に来てくれました。
4月から約1か月の練習期間で、時間的に厳しいものもあったのですが、本番では楽しんで全力のステージを披露できました。
また、同じステージの他の出演者のパフォーマンスをみて衝撃を受けた部員もいて、ダンス部にとっても本当に良い機会になりました。これからも今回のイベントで感じたことを生かし、高専祭ダンスパーティに向けてより良いパフォーマンスが出るように日々練習を頑張っていこうと思います。
みなさん、今年も高専祭ダンスパーティでは本気でいい作品を作りますので、ぜひ見に来てください。



平成28年6月4日呉高専日誌より

インターアクトクラブ車いす清掃活動

インターアクトクラブ会長 前田 大貴（建築学科3年）

6月4日（土）に呉市西中央にある呉中央コスモス園にて車いすの清掃活動を行いました。

今回は都合により参加できる人数が少なかったのですが、インターアクトクラブOBの専攻科生の方や呉ロータリークラブの方々と協力して活動をしました。
ちなみに、インターアクトクラブは3年生までが所属するクラブなので4年生以上の方は「OB」となります。

車いすのタイヤを洗剤とブラシで磨き、シート部分やハンドルをタオルで拭くという簡単な作業でしたが、つついこだわ

て1台の車いすの掃除に時間をかけてしまう学生もいました。1時間半の活動でしたが、計20台ほどの車いすを綺麗にしました。

OBや呉東ロータリークラブの方との交流も深まり、貴重な時間となりました。



平成28年6月4日呉高専日誌より

高校総体ラグビーに合同チームで出場、尾道Bチームに善戦

ラグビー部顧問 山脇 正雄



6月4日の初戦は尾道Bとの対戦でした。17対5で負けてしまいましたが、随所に良いプレーが見られる善戦となりました。

本校からは6名が出場、安芸南高、尾道北高とは3月頃からの合同チームを組み、お互い意思疎通もできるようになっていきました。

さすがに尾道は組織的な攻撃で当たりが強く、負傷者も出てしまいましたが、果敢に連携したタックルで相手の猛攻を防ぐことができ、更にはトライを取ることでもできたのは大きな成果でした。

翌日の6月5日は合同Bチームとの試合、さすがに本校部員はテスト明けの調整不足と前日の疲労で目立った活躍はできません

でしたが、最後まで走りきることができました。スコアは38対0で、この日も危ないディフェンスと体を張ったプレーが光りました。

新入生で中学からの経験者の山田君はウイングで初出場、相手を引きずりながらトライにつなげたのは、今後の活躍に期待が膨らみました。



平成28年6月5日呉高専日誌より

広島県学生サッカーリーグ初戦勝利

サッカー部顧問 西坂 強



6月5日(日)に県リーグの初戦が呉高専Gで県立大学三原キャンパスとありましたので、紹介いたします。
県リーグで今年は優勝するために、失点を極力減らすポジショニングと、得点チャンスをつくる個の練習に取り組んできました。この試合は、その練習の成果を確認するよいタイミングと必ず勝たなければいけないメンタルトレーニングも含まれています。
試合は前半10分(機械工学科4年宮里君)13分(建築学科4年平末君)25分(環境都市工学科5年廣政君)42分(環境都市工学科4年平田君)に得点し4:0でハーフタイムへ、後半は0:0で4:0の勝利でした。ボールを奪ってからの早いオープンスペースへの大きなパスとそのコースへ予め

走るタイミングがうまく機能した前半で、とても良い試合内容でした。後半は同じ内容のサッカーをしていましたが、運動量が落ちたことによる攻守の判断遅れと交代メンバーが上手く活躍できなかったことが要因と思います。
県リーグは6月12日、6月19日、6月26日(毎週日曜日)11:00から呉高専Gで公式戦があります。優勝校は天皇杯予選の参加権が得られる重要な試合で、2年連続2位と大変悔しい思いをしています。

今年こそは、県リーグ優勝する努力をしていますので、試合応援をよろしくお願い致します。

平成28年7月2日呉高専日誌より

バスケットボール部(男子) 高専大会結果

バスケットボール部顧問 及川 栄作

バスケットボール競技は広のオークアリーナで9年ぶりに開催されました。大会初日7月2日(土)の男子は、参加8高専が2つのパートに分かれて予選に臨みました。
呉高専のパートの結果は、松江高専が3勝となり、呉高専、津山高専、宇部高専がともに1勝2敗で、3チームが勝率で並びました。総得点数と総失点数の比率の結果、呉高専は僅差で、及ばず、決勝リーグへ進めませんでした。男子は4年生が主体の

チームであり、来年もあります。来年こそ決勝リーグへ進むことを期待します。
なお本大会は、呉高専の男女のバスケ部の学生が、外部コーチおよび教職員と一緒に会場設営から、運営、片付けまで行いました。また、片付けの一部はラグビー部の協力もありました。皆さんの協力で大会を無事終えることができました。お礼を述べます。



平成28年7月3日呉高専日誌より

二河球場でアナウンス

演劇部 角 有紗(環境都市工学科4年)



7月2、3日、演劇部は二河球場で高専大会・硬式野球のアナウンスを行いました。前日からリハーサルがあり、グラウンドにスピーカー越しで聞こえる私達の声は普段と全く違うようでした。
アナウンスの「1回の表、〇〇高専の攻撃」等の部分は練習できたのですが、代打や守備交代は試合が始まらないとわからないので練習できず不安でした。
試合1日目、スターティングラインナップや審判、バッターの紹介等は、ゆっくり、明瞭さを意識して伝えることを心がけました。心配だった守備交代は、審判からの選手交代指示を受け放送するため、文章にするのに時間はかかりましたが、何とか伝え

られました。ですが3人ほど守備変更があった時は焦ってあわててしまいました。2日目は失敗から改善策を考え、開始前から念入りに準備をしました。結果、1日目よりスムーズに放送できたと思います。

演劇には台本があり、覚えておけば舞台で困ることは少なくなります。開始前から全体の流れが掴める演劇と違い、野球のアナウンスは、変化する状況を迅速に理解し、正確に情報を伝える力が必要でした。あたふたしたりもしましたが、とても楽しく、新たな経験を積むことができた3日間でした。

平成28年7月5日呉高専日誌より

高専大会バドミントン部の報告

バドミントン部顧問 大和義昭、田中誠、上杉裕子、山田祐二

今年の高専大会中国地区大会バドミントン競技は、7月1日から3日にかけて、岡山県の津山市総合体育館で開催されました。私たち呉高専バドミントン部は男子13人、女子7人で大会に挑みました。
結果は、団体戦は男女共3位でした。上位2校までが参加できる全国大会への出場は、残念ながらありませんでした。個人戦では、男子シングルスで山口啓太君(電気情報工学科5年)が準決勝で敗退し3位

という結果でした。ファイナルセットまでもつれた準決勝で敗れた相手が優勝したことから、とても惜しい結果でした。
高専大会が終わるとキャプテンが代わって新チームとなります。一年間キャプテンを務めた岡本直樹君(環境都市工学科4年)はお疲れさまでした。松木聖也君(建築学科3年)を新キャプテンとした新チームには、是非来年の大会でもっと大きな結果を残してもらいたいと願っています。



平成28年7月5日呉高専日誌より

第52回中国地区高等専門学校体育大会～テニス競技報告～

テニス部 秦 直輝（機械工学科4年）、重光 裕介（環境都市工学科4年）

7月1日から3日までの3日間、岡山市にて第52回中国地区高等専門学校体育大会テニス競技が行われました。

試合初日となる2日目の午前中は団体戦が行われ、昨年度優勝の呉高専は2回戦からの参加となりました。2回戦目の相手は米子高専、環境都市工学科5年三浦佑輝選手の活躍でシングルス1を取ることが出来ましたが、接戦ながら惜しくもシングルス2、ダブルス1を落としてしまい、悔しい2回戦敗退となってしまいました。そして、午後からは個人戦を行いました。

近日の天気からは予想もできないほどの炎天下のなか、試合が行われました。

シングルスでは環境都市工学科5年三浦祐樹選手がベスト8に入り、ダブルスでは環境都市工学科5年三浦、環境都市工学科5年武本ペアと環境都市工学科4年牛尾、機械工学科4年生天目ペアがベスト8に入りますが惜しくも全国出場とはいかず厳しい結果となりました。

この経験を活かし、次の高専大会での王座奪還に向けて日々練習に励んでいきたいと思っております。

最後になりますが、応援して下さった保護者の皆様、先生方、学生の皆さんには本当に感謝しております。ありがとうございました。



平成28年7月12日呉高専日誌より

バスケットボール部（女子） あと一步及ばず…

バスケットボール部 賀谷日向子（環境都市工学科5年）



7月の2、3日に地元、呉で高専大会が開催されました。初戦の大島商船に勝てば決勝リーグに残れるので、最初から全力で挑みました。

結果は、惜しくも逆転されて4点差で負けてしまいました。実は頼れる先輩が卒業して総合力が弱まり大敗も覚悟していましたが、後輩の頑張りのおかげで最後まで接戦となり、いい試合をすることができたので悔いはありません。チームのみんなが

コートに立ち、一人ひとりが練習の成果を発揮できた試合となったと思います。

今大会が私にとって最後の高専大会でしたが、学ぶことが多い試合になりました。この経験を無駄にせず後輩たちに来年頑張ってもらいたいです。

今年は、地元開催ということで、多くの方々にお世話になりました。コーチ、先生方、本当にありがとうございました。

平成28年7月15日呉高専日誌より

硬式野球部（高野連チーム）第98回全国高等学校野球選手権広島県大会 初戦突破！！

硬式野球部顧問（副部長） 山岡 俊一

本日、硬式野球部（高野連チーム）は「第98回全国高等学校野球選手権広島県大会」の初戦（2回戦から出場）でした。上下高校と延長10回を戦い、8-2で勝利することができました。エースの渡辺芳樹君（環境都市工学科3年生）が素晴らしいピッチングで10回を完投しました。また、エラーが0でしっかり守ることができました。攻撃では数少ないチャンスにしっかりと得点できました。全員野球で良く頑張ったと思います。スタンドの応援も勝利を願って一生懸命応援しました。硬式野球部高専チーム、保護者や卒業生の皆様、授業

の合間に駆けつけた教員、そして応援歌を演奏してくれた吹奏楽部が一致団結して選手に声援を送りました。

次は3回戦です。広島新庄高校と福山市民球場で対戦します。強豪校との対戦ですが、選手たちは全力プレーで頑張りますので、引き続き応援をよろしくお願いたします。



平成28年7月16日呉高専日誌より

卓球部全日本卓球選手権大会ジュニアの部呉地区予選 結果

卓球部 下村 謙太（環境都市工学科1年）



7月16日に呉市オークアリーナ・サブアリーナにて全日本卓球選手権大会ジュニアの部呉地区予選が開催されました。この大会は個人戦のシングルス、ダブルスのみで、シングルのベスト32以上が、9月の県大会に出場できます。

本校からは、男子シングルス ダブルスペア、女子シングルス1名が出場しました。ダブルスでは残念ながら結

果を残すことができませんでしたが、シングルスでは、男子で高雄選手（ベスト16）、中岡選手（ベスト32）、福光選手（ベスト32）が、女子では森口選手（ベスト16）が好成績を残し、県大会への出場が決まりました。

残念ながら賞状を獲得することができませんでしたが、今後とも頑張っていきますので応援よろしくお願いたします。

7-8月

平成28年7月22日呉高専日誌より

自動車部 1/24スケール車プラモコンペ 2位

自動車部



自動車部では、車の模型コンペにも積極的に参加しています。今月、東広島市のK's Hobby Shopで開催された模型コンペにて、自動車部の作品が2位を獲得しました。

主催：K's Hobby Shop
(東広島市西条大坪町)

コンテスト名：1/24スケール車プラモコンペ

参加部門：車 一般部門

作品名：NDロードスター カップカー
(製作者：機械工学科4年 彌吉峻太)
コンペ結果：2位 (出品数：26点)

製作のポイントは4つです。

1. マツダの独特のメタリック色を再現するためにメタリック色にクリアーカラーを重ね塗りすることによって再現。
2. ロールケージ、スポイラー等は自作。
3. ネットの写真等を資料にして製作。
4. ヘッドライト、テールライトはLEDにより点灯可能。

入賞作品の総評等は、以下のURLで紹介されていますので、是非ご覧ください。

<http://ks-hobby.daa.jp/ksblog/article/319>

平成28年7月31日呉高専日誌より

ワンダーフォーゲル部 クライミングコンペに初出場!

ワンダーフォーゲル部顧問 佐賀野 健

ワンダーフォーゲル部(以下ワンゲル部)は、7月31日(日)に山口県セミナーパークで開催された「BELTCOMP」というクライミングコンペに初めて出場しました。

これは約5mの高さの壁を、ロープなどを使わずに登るボルダリングという競技です。この競技は2020年に開催される東京オリンピックの正式競技となることがすでに決定しております。

今回の大会は課題(コース)が4つ設定しており、それぞれ4分間でゴールを目指します。競技レベルによって、stoic、advance、enjoy、kidsの4部門があります。

ワンゲル部からは、3年生はenjoyの部、5年生はadvanceの部に出場しました。enjoyの部といっても、競技レベルは高く、4人とも予選を突破できませんでした。advanceの部に挑んだ5年建築の中峠くんは予選17人中7位だったのですが、決勝に出場できるのは6人までで、残念ながら予選敗退となりました。

初めての大会ということで、結果は残せなかったものの、いろいろな課題や目標ができたことと思います。



平成28年8月20日呉高専日誌より

演劇部合同合宿に参加しました

演劇部 木村 萌 (建築学科1年)



8月17日から8月20日の4日間、演劇部は、江田島青少年交流の家で行われた広島の中立高演劇部主催の合同合宿に参加しました。

参加校は沼田、市商、基町、舟入、国泰寺、安佐北、賀茂、美鈴ヶ丘、呉地区では呉港、清水ヶ丘、本校です。114名参加の規模の大きな合宿でした。合宿では、演劇に関する技術、トレーニング方法、周りへの礼儀など様々なことを学びました。

一日目は午後から始まり、エアロビや歌の練習などをしました。夜は三つの研修に分かれ、演技研修、ダンス、特殊な柔軟運動(ジャイロキネシス)の中で、自分かしたい研修を受けました。

二日目は、午前には創作ダンスを作り、発表しました。講師の方から受けたアドバイスから、午後には二度目の発表をしました。その後すぐ歌の練習・発表に移りました。二人の演出家を決め、ミュージカルのように動きをつけました。班ごとに様々な表現があり、勉強になりました。

三日目は体幹トレーニングと筋トレを、夜は寸劇発表をしました。各班が題から4分の寸劇を作りしました。演出家と共に、より良い作品になるよう全員が頑張りました。他校の方と交流することで、新しい刺激を受け、自分たちは違うやり方を多く学べました。様々な良いところを取り入れることで、今後大きな成長が出来るのではないかと思います。

平成28年8月31日呉高専日誌より

ソフトテニス女子全国大会 金・銅メダル獲得で呉市長を表敬訪問

ソフトテニス部顧問 井上 浩孝

8月31日(水)、14時30分より新庁舎に移転した呉市役所市長応接室にて、8月18日、19日に三重県四日市ドームにて開催されました、第51回全国高等学校体育大会ソフトテニス競技女子個人戦ダブルスにて、4度目の出場で2連覇を達成した矢野明日香・矢野遥香ペア(ともに建築学科5年)と初出場で見事3位に入賞した森木みずうみ・今田桃世ペア(ともに建築学科3年)が小村市長へ大会報告をさせて頂くために表敬訪問をしました。森野校長から今大会の試合結果とその経緯を説明させて頂き、中国地区大会では決勝で今大会3位に入賞した森木・今田ペアに負け、それから全国大会連覇へ向けて遥香さんと明日香さんは木下コーチのご指導のもと日々反復練習を繰り返

し、全国大会では堂々の2連覇を達成したことを報告して頂きました。また、木下コーチから昨年表敬訪問させていただいたときに全国優勝2連覇をしてまたお会いしようとの約束を励みに二人は頑張りましたと、和やかな報告ができました。

小村市長から、よくがんばりましたねとのことのお褒めのお言葉を頂き、少年時代野球に打ち込んでこられたことなどをお聞きし、呉市内の高校から広島県代表として甲子園へ出場してほしいという高校野球にかける熱い想いを感じました。

最後になりましたが、小村市長との面談にご配慮いただきましたスポーツ振興課の青山様、河下様に深く感謝いたします。



平成28年4月3日呉高専日誌より

平成28年度入学式

総務課総務係

4月3日(日)に平成28年度入学式が挙行されました。

本科生171名(うち編入学生1名、留学生3名)、専攻科生23名の新生が、新たに呉高専で学ぶこととなりました。新入生代表からは、呉高専に入学した感激を忘れずに、本校学生としての誇りを持って、勉学に励み、人格の高揚に努めたいとの宣誓がありました。

校長式辞では、「何でもいい。好きなこ

とに夢中になり、己を磨け」というお言葉をいただきました。(校長式辞はHPのリンク先に全文を掲載しております。)

また、今年は吹奏楽部演奏のもと、学生会コーラスグループによる校歌斉唱が行われました。新入生のみなさんの夢の実現に向け、教職員一同、精一杯の支援をお約束いたします。

Realize Your Dream



平成28年4月3日呉高専日誌より

寮生活スタート(入寮式から新入寮生歓迎夕食会まで)

寮務主事 木原 滋哉



4月3日。新入寮生にとって、記念すべき新しい生活の1日目です。それにしても慌ただしい1日でした。午前中の入学式の後、午後まず入寮式、その後、自分の部屋に荷物を入れて寮内を見て回り、夕方は新入寮生歓迎夕食会で初めての食事。さらに、初めてのお風呂、点呼。新しい生活を心配する暇もなかったのではないのでしょうか。

入寮式では、森野校長から、仲間をつくるのがいかに大切か、学生寮ではたくさんの友だちをつくってください、と激励がありました。藤平学生寮保護者連絡会会長

からは、学生寮の5年間は、人生の基礎となる重要な経験を積むことができる時期だ、という指摘がありました。学生寮での一日一日の生活をどのように過ごすかで、高専生活、そして人生が決まりますので、自覚して過ごしてほしいものです。新入寮生歓迎夕食会では、寮食堂で初めての食事を楽しみました。家庭での食事と味付けが違うかもしれませんが、いろいろな食事を楽しんでくれることと思います。

新しい生活の第一歩を踏み出した1日でした。

平成28年4月9日呉高専日誌より

1年生の遠足

機械工学科1年担任 赤池 祐次

新入生オリエンテーションとして例年最初の土曜日に遠足を実施しています。今年度も灰ヶ峰登山の予定でしたが、2日前に大雨が降り、日陰部分が多い登山道は乾かないであろうと考慮して、今回は雨天時予定との折衷案「呉越峠を歩き大和ミュージアムを見学」としました。9:00前に呉高専を出発し、呉越峠を通り10:20ごろ呉中央公園に到着。そこから呉市内を經由して大和ミュージアムまで徒歩約1時間で行き見学しました。歩きながら話すことで友達同士の親睦を深めることができただけでなく、少々の時間がかかりましたが、呉高専の学生証があれば無

料で見学可能なので、時間不足だった人は後日参観して下さい)、12:30に大和ミュージアム前に全員が集合し、ここで解散としました。1年生の皆さん、入学式から今日までの連続7日間お疲れ様でした。しっかり休養して新しい学校生活に備えましょう。



平成28年4月23日呉高専日誌より

一年生交流イベント【呉高専大解剖】

機械工学科4年 秦 直輝



4月23日(土) co-ba KUREKOUSENで呉高専大解剖という題名の一年生交流イベントを開催しました。約50名を超える学生さんが参加して下さいました。イベントの前半は、新入生に呉高専を知って頂くために色々な議題について話をしました。呉高専の学科、勉強、おすすめの先生などの色々な話題で多に盛り上がりました。後半は、各グループに新入生、先輩後輩、留学生がまばらに分かれ自己紹介やゲームを行いました。MC担当環境都市工学科4年 北岡正伍君のトークにより参加して下さった学生さん全員が笑いに包まれ、最高の交流会になりました。また、一年生から

このような感想も頂きました。

電気情報工学科1年 高松 陸
「主に、高専の特徴を聞いたり、先輩方との交流を通じて、先輩の話から自分から率先して行動することの大切さや、普段接する機会の少ない先輩と様々な話やゲームを行い、親睦を深めることができました。そして、今回のイベントで学んだことを活かして、これからの高専生活をもっと充実させたいと思います。」
最後に、参加して下さいました学生さんには改めて感謝いたします。これからも色々なイベントを開催していきますので是非みなさん参加してください。

平成28年6月16日 呉高専日誌より

国際交流パーティー

機械工学科4年 木村 颯

6月8日に国際交流パーティーが行われました。初対面同士もたくさんいるので、最初は打ち解けるために軽いゲームをしました。ルールは普通のババ抜きですが、引いたカードに対応する質問を相手に英語でしました。通常のババ抜きにはないスリルを感じながら、みんな徐々に打ち解けていきました。

次は新しく呉高専に来てくれた3人の留学生に母国を紹介してもらいました！チュンホン君はカンボジアのおすすめの食べ物や観光地等を、アフィフ君、イムラン君はマレーシアのフェスや有名な建築物の紹介をしてくれました。両国とも移動費や物価が安いので、お土産もたくさん買えます。建築の勉強にもなるので是非行ってみたいいかがでしょう？3人とも緊張しつつも、

とても上手な日本語で紹介してくれました！次は各国に関連するゲームをしました。日本は留学生の名前を書道部が美しい文字で半紙に書いてくれました。マレーシアのゲームはダムハジというボードゲームをやりましたが、シンプルながら戦略性のある奥深いゲームに先生方も頭を悩ませ楽しんでいました。カンボジアのゲームはチュンホン君オリジナルの伝言ゲームで、カンボジア語を見て聞いて話して書く、とても貴重な体験ができました。

最後は国際交流部が閉会の挨拶を行い、50人を超える参加者で写真を撮り、楽しい時間は暮を閉じました。国際交流イベントでは留学生や先生方とも仲良くなれるので、みなさんの次回参加を楽しみにしています！



平成28年6月10日 呉高専日誌より

体育祭

学生会広報委員 山下すみれ（環境都市工学科4年）



5月14日（土）に体育祭が行われました。今年度は昨年度の競技に加え、本気で倒したい棒、棒奪いかが加えられました。また、綱引きのルールも変わりました。各種目の順位の結果は、

- 障害物リレー 1位 電気情報工学科
- 綱引き 1位 建築学科
- 長縄 1位 電気情報工学科
- 本気で倒したい棒 1位 機械工学科
- ダンシング玉入れ 1位 環境都市工学科

- 呉高専リレー 1位 建築学科
- クラブ対抗リレー
 - スピード部門 優勝 陸上部
 - エンターテイメント部門 優勝 演劇部
- 棒奪い 1位 環境都市工学科
- 学科対抗リレー 1位 電気情報工学科

優勝した学科は、電気情報工学科でした!!!!どの学科の学生も優勝を目指して頑張りました。

平成28年6月12日 呉高専日誌より

学生主催企画 「Melloco/林檎子 似顔絵講座・画展」を開催しました！

建築学科3年 井野 昌

「いらすとえ〜ず」第二弾として、イラストレーター・漫画家として活動中のMelloco/林檎子さんをゲスト講師としてお招きし、似顔絵イラストの教室と絵の展示を行いました。

インキュベーションワークでリノベーション中の石段の家を開催場所にしました。石段の家でこのようなイベントをするのは二回目です。

主にSNSを使った広報活動をしていたのですが、実際に宣伝を見てきてくれた一般の方が多くおられました。中には県外の方も。

似顔絵講座では学んだことをその場で実践するというので、建築学科の光井先生の似顔絵をそれぞれが描きました。

また当日は、Mellocoさんのライブペインティングも行われ、参加者は目の前で完成してゆく絵

をキラキラした目で見つめていました。絵は実際に描いているのを見るのがとても勉強になるのでいい経験になりました。

今回イベントの企画をしてみても反省点が見つかりましたが、これを次回へ生かせるように頑張ります！つまり、次回も開催する予定です！

当日までの準備、当日の運営とたくさんの学生が協力してくれたおかげで、イベントは成功に終わりました。特に一年生が積極的に参加してくれたことが嬉しかったです。これからお手伝いするだけでなく、こうしたイベントの開催をしてくれるようになると良いな、とひそかに思っています。



平成28年6月19日 呉高専日誌より

平成28年度ブックハンティング

学生会 文化環境委員長 三京 拓弥（機械工学科4年）



今年度より年に1度の開催となったブックハンティングが、6月19日（日）に行われました。場所はジュンク堂書店（広島駅前店）に1〜3年生、4〜5年生、専攻科生の2班に分かれ、学生31名、教職員3名でおじゃまさせていただきました。

今年度より休日の開催となり学生達には忙しい中で参加して頂きましたが、色々な本を手にとったりし、熱心に本を選んでいる様子が見受けられました。予算は1人1万

円でしたが専門書には高価なものも多く、更には種類も多彩であるため、どの本を購入するか選ぶのにとても苦戦しました。

なかなか普段買えない本を選んで買ってきたので学校の図書館に並べられるのを楽しみに待っていて下さい。

なお、ブックハンティングに必要な経費は後援会から支援していただいています。ありがとうございました。



6-7月

平成28年6月22日呉高専日誌より

2年学科交流企画

建築学科2年 中村 理子

6月22日水曜日、2年生学科交流企画でクラスマッチを行いました。
 競技は、バレーボール、バスケットボール、ドッジボールの3種目です。今回はちょうどアリゾナの高校から本校に滞在していた留学生たちも加わり、学科交流を飛び越えた国際交流企画となりました。
 学科対抗ということもあって、始まりから終わりまで、どの試合も白熱した戦いで凄まじい攻防が繰り広げられました。また、応援にも気合が入っており、大きな歓声や拍手が体育館中に響き渡りました。
 結果はバレーボールは環境都市工学科、バスケットボールは建築学科、ドッジボールは機械工学科が優勝。そして、見事に機

械工学科が総合優勝を果たし、2年生の担任の先生方から優勝賞品が渡されました。
 最後には胴上げを行ったクラスがあるなど、よりクラスの団結力が高まったと思います。さらに他学科とはスポーツを通して交流を深めることができました。
 私たちの学年では初のクラスマッチでしたが、終わった後に、「もう一度戦いたい」「またクラスで団結したい」「他の競技でもやりたい」などといった積極的な意見が多く寄せられたので、またこの様な学科交流ができたらいいな、と思っています。
 勝ったクラスも負けたクラスも、よい思い出となった学科交流企画でした。



平成28年7月5日呉高専日誌より

阿賀小学校3年生が校外学習で見学に来られました

学生課教務係



7月5日(火)阿賀小学校3年生101名が「阿賀町のじまん アガデミア」の学習の一環として校外学習で見学に来られました。

最初に、視聴覚教室で本校についての説明をした後、クラスごとに3グループに分かれて図書館、学生寮、食堂や授業などを見学しました。

見学後の質問タイムには、「建物の数は?」「図書館の本は何冊?」などのほか、中にはとても鋭い質問もあり回答に困る場面もありました。多くのみなさんが挙手していたのですが、すべての質問に答える前に時間切れとなってしまいました。

短い時間でしたが、「小学校とのちがいがいい」や「本校のじまんを見つける」という目的が達成できたのであれば嬉しいですね。

平成28年7月27日呉高専日誌より

呉東ロータリークラブへの感謝状贈呈

国際交流室

7月27日(水)本校校長室において、森野校長から呉東ロータリークラブへ感謝状が贈呈されました。

呉東ロータリークラブには、平成24年3月に協定を締結した中国・大連大学との交流をはじめとして、本校の国際交流推進に多大なる貢献をいただいております。

また、今回は、大連大学と本校の学

生で双方向の学術交流研修を実施するにあたり、研修参加学生への奨学金として、寄附金をいただきました。

学生が世界を知り、世界と対話し、世界に挑戦することができるよう、引き続き国際交流の促進を行ってまいります。



平成28年7月31日呉高専日誌より

環境都市工学科 学校見学会の様子

環境都市工学分野 谷川 大輔



7月31日(日)に学校見学会が開催されました。
 学科のイメージが付きにくい環境都市工学ですが、少しでも興味を持ってもらうため、土、水、コンクリート、環境、微生物、バーナー、富栄養化、環境展示体験コーナーや、作成したレポートなどの展示をおこないました。
 各展示会場では、本科5年生と専攻科の学生がおこなった研究分野の説明を自分な言葉で、低学年の学生達に分かりやすくお話ししました。また、暑い中、各会場までエスコートして

くれました。学科では、たくさんの方々に体験してもらったこと、各会場に展示したスタンブラリーをおこしたました。スタンブラリーで是非、本校の魅力を勉強してください。来年度4月の入学式に、来てくださることを楽しみにしています。

大変暑い中、たくさんの方にお越しいただき、どうもありがとうございました。

平成28年8月3日呉高専日誌より

英語統一試験成績優秀者の表彰式

学生課教務係

8月3日(水)に平成28年度英語統一試験成績優秀者の表彰式を、校長室にて行いました。

呉高専では、例年6月に行う英語統一試験(1~2学年はTOEIC® Bridge IP、3学年以上はTOEIC® IPを受験)において、各学年上位2位までの成績優秀者に対し、表彰として記念品を贈呈しています。また、高得点の学生が本校で企画している国際交流事業に参

加する際には、奨学金を給付する制度もあります。

今年度の3~5年生の表彰者は、ほぼ全員が900点を超えるなど、素晴らしい成績を残しました。1~2年生の表彰者も、継続して勉学に励み、優秀な先輩方に続いてほしいと思います。



平成28年8月9日呉高専日誌より

第1回呉高専ミニロボコン開催

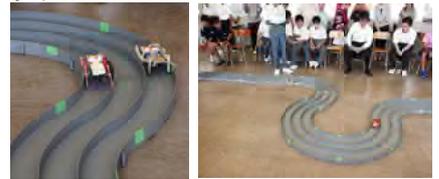
機械工学科



歩行ロボットによりスピードを競う第1回呉高専ミニロボコンを機械工学科3階M3教室にて開催しました。エントリーした中学生は24名(中学校としては8校)。引率教員・保護者・応援生徒を含めると約40名の参加となりました。

ナメント方式による激戦の中、優勝は広島市立三入中学校1年の清水優希君でした。ロボットの秘策は4足の裏に装着した歯ブラシの相性が抜群に良く、高速歩行を実現していました(詳しくは8月10日の中国新聞をご覧ください)

猛暑の中でしたがアイデアにあふれる24台の歩行ロボットの登場に会場は大いに盛り上がりました。今回は簡単な平面コースでしたので、次回大会では更に難しいコースを用意しておきます!



平成28年8月23日呉高専日誌より

実習工場技能講習会(その1)

技術センター 大東 由喜夫

実習工場では、8月22日から25日までに4日間の日程で技能講習会を行いました。この講習会は、機械の操作指導をまだ受けていないことが出来ない学生に、実習工場を積極的に活用してもらうことを目的としています。受講生は、多学科から13名の参加がありました。22日は旋盤の基本操作を学び、23日はコマの製作です。コマの条件は、直径20mm以内で材料は真鍮です。学生が、それぞれ自分で考

えてきた設計図を基に、加工していきましました。製作後は、コマ回し大会です。初めて製作したとは思えないくらい完成度の高いコマばかりでした。決勝戦は、インキュベーションワークでのコマづくりのために参加した二人の対戦となりました。コマの芯がぶれずに長い時間回り続けて接戦となり、優勝は電気情報工学科2年生の川本侑弥君でした。

自分の作ったコマに、みんな満足した様子で大変盛り上がった大会となりました。



平成28年8月25日呉高専日誌より

実習工場技能講習会(その2)

技術センター 大東 由喜夫



旋盤に引き続き24日はフライス盤、25日はその他の工作機械の技能講習会を行いました。

フライス盤の講習では、午前中でフライス盤の取り扱いや基本的な加工を行い、午後からは、20mm×25mmの四角柱の4面を加工して18mm×23mmの四角柱にしました。加工後、ゲージを使って出来栄の検査もするので、みんな真剣に行っていました。削りすぎて小さくなった学生もいますが、ほとんどの学生は精度よく仕上がっていました。

最終日は、その他の工作機械の講習でした。バンドソー・コンタマシニング・シャー・ボール盤など色々な工作機械の取り扱いについて学びました。穴あけ位置を測定器具で確認しましたが、正確に加工できていました。

この4日間の講習で学んだことを生かして、インキュベーションワーク授業やクラブ活動で頑張って成果を出していただきたいと思います。

クラブ活動・各種大会報告

第51回全国高等専門学校体育大会 (平成28年8月17日～9月4日)

(団体) (個人) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名	種目・順位	所属・氏名	所属・氏名
硬式野球	3位	陸上競技		ソフトテニス		
剣道(女子)	予選リーグ敗退	走幅跳	予選落ち C5 小川 大貴	男子ダブルス	ベスト8 M4 杉村 翔大	A3 矢野下 航平
		砲丸投	予選落ち E5 栗栖 裕紀	女子シングルス	ベスト8 A4 野間 萌	
		円盤投	予選落ち E5 栗栖 裕紀	女子ダブルス	優勝 A5 矢野 明日香	A5 矢野 遥香
		やり投	予選落ち C3 藤原 陸		3位 A3 森木 みずうみ	A3 今田 桃世
		剣道				
		男子個人戦	1回戦敗退 E3 徳広 怜二			
		女子個人戦	2回戦敗退 A5 吉本 菜那			

第25回西日本地区高等専門学校 アーチエリー競技会 (平成28年8月25日～8月26日)

(団体) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名
団体(男子)	2位	30mダブル	優勝 E1 赤松 陽輝
			2位 C1 南 汰翼

第22回西日本地区高等専門学校 空手道大会 (平成28年7月9日～7月10日)

(団体) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名
団体形	3位	個人形(男子)	2位 A2 平本 駿樹
		個人形(女子)	2位 A2 山藤 渚
			4位 A2 田中 歩希
		個人組手(女子)	4位 A2 山藤 渚

第98回全国高等学校野球選手権広島大会 (平成28年7月13日～7月17日)

二回戦 呉高専 8-2 上下高校 (呉高専は初戦が二回戦)

三回戦 呉高専 0-10 広島新庄高校

第52回中国地区高等専門学校体育大会 (平成28年7月1日～7月3日)

(団体) (個人) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名	種目・順位	所属・氏名	所属・氏名
陸上競技(男子)	4位	陸上競技		ソフトテニス		
硬式野球	優勝	100m	4位 E1 藤川 岳士	男子ダブルス	2位 M4 杉村 翔大	A3 矢野下 航平
ソフトテニス(男子)	2位	200m	6位 E1 藤川 岳士	女子シングルス	1位 A4 野間 萌	
剣道(男子)	3位	400m	7位 E4 堀 智貴		3位 M5 森永 ふみえ	
剣道(女子)	2位	800m	5位 A3 有田 凱		4位 C4 平田 絵梨香	
バドミントン(男子)	3位		7位 E3 長谷川 甲斐	女子ダブルス	1位 A3 森木 みずうみ	A3 今田 桃世
バドミントン(女子)	3位	5000m	8位 E3 渡辺 智也		2位 A5 矢野 明日香	A5 矢野 遥香
		110mH	5位 M5 中村 和真		3位 C3 加藤 梨乃	C3 山本 桃加
		4×100mR	3位 C4 吉川 佑	剣道		
			M2 山口 竜矢	男子個人戦	4位 E3 徳広 怜二	
			A3 山本 摩生	女子個人戦	2位 A5 吉本 菜那	
			E1 藤川 岳士		4位 C2 進藤 ころこ	
		4×400mR	6位 E1 藤川 岳士	水泳		
			E3 長谷川 甲斐	自由形 50m	6位 M2 北村 貴則	
			A4 松本 紘幸	自由形100m	5位 M2 北村 貴則	
			A3 有田 凱	バタフライ200m	4位 E2 松本 生弥	
走幅跳	1位	走幅跳	1位 C5 小川 大貴	リレー400m	5位 M2 北村 貴則	E2 松本 生弥
	5位		A3 山本 摩生		M2 谷口 弘基	E2 岡部 蓮也
三段跳	4位		C5 小川 大貴	バドミントン		
砲丸投	4位		E5 栗栖 裕紀	シングルス	3位 E5 山口 啓太	
円盤投	1位		E5 栗栖 裕紀			
	8位		M4 安井 圭祐			
やり投	3位		C3 藤原 陸			
女子800m	3位	女子800m	3位 A3 古田 花那			

赤字は全国大会出場種目、所属・氏名

Realize your Dream

君の未来を共に創る

呉高専ではホームページで
球技大会、高専体育大会、駅伝大会、ロボコン大会等、
校内外の行事や授業風景、寮の様子、クラブ活動など日々の学生生活を
「呉高専日誌」で紹介しています。



呉高専 検索

呉高専ホームページ

<http://www.kure-nct.ac.jp/>



交通案内

▶▶交通機関をご利用の場合

- JR呉線安芸阿賀駅下車 徒歩約7分
- 広島電鉄バス「先小倉」「阿賀駅前」下車、徒歩約10分

▶▶お車でお越しの場合

- 【広島方面から】広島呉道路(クレアライン)呉ICより20分
- 【東広島方面から】東広島呉道路、先小倉交差点より5分
- 【竹原方面から】国道185号、先小倉交差点より5分

呉高専だより 74号

2016年9月

編集・発行 呉工業高等専門学校 広報室

〒737-8506 呉市阿賀南2丁目2-11

TEL:0823-73-8964 Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp